

事務局ニュース

《事務局業務日・時間》月曜日～金曜日(土日・祭日休業)
午前 9:30～午後 3:30

No.292 2022年3月1日
NPO 法人富山県腎友会事務局
〒931-8443 富山市下飯野 70-4
TEL:076-407-5085
FAX:076-407-5086
発行責任者 池田 充
編集 坂田 祐美
定価 50 円(会費に含む)

新型コロナウイルス感染症対策について

オミクロン株の感染拡大に伴い、透析患者の感染急増が懸念され、さらなる対応の充実が必要となることから、厚労省は都道府県衛生主管部宛てに「オミクロン株の流行を踏まえた透析患者の適切な医療提供体制の確保について」の文書を発出しました(2/8付)

なお同文書は、日本透析医会、日本透析医学会、日本腎臓学会にも示されており、この文書を受けて同団体合同委員会からも文書が出されました。その要点は以下の通りです。

1. 新型コロナウイルス治療薬の確保(中和抗体および経口ウイルス薬)

透析患者は重症化リスクを有していることから、それぞれの病態等に応じた適切な治療薬を早期に投与する体制を確保することが重要である。そのため、透析患者を診療する医療機関においては、予め各治療薬の登録センター等への積極的な登録をお願いしたい。

2. 感染した透析患者の受け入れ体制の確保

透析患者は症状にかかわらず入院治療を原則としているが、オミクロン株の流行により入院が必要となる患者も増えることが懸念されるため、さらなる受け入れ病床の確保をお願いしたい。また、患者の移送についても自治体との緊密な連携をお願いしたい。

3. 透析患者のワクチン接種の推進

重症化リスクの高い透析患者にはワクチンの必要性が高いとされている。接種券が届いていない場合でも初回接種完了後 6 ヶ月を経過すれば追加接種が可能のため、積極的なワクチン接種をお願いしたい。

【出典】

<https://www.mhlw.go.jp/content/000895763.pdf>
<https://www.jsdt.or.jp/info/3518.html>

国会請願署名・募金集計

2月24日現在

病院名	全腎協	JPA	募金
県立中央	63	63	5,000
富山赤十字	76	75	7,000
横田記念	131	121	7,000
長谷川	75	0	21,000
不二越	1,365	867	30,000
元町内科	179	179	5,000
富山駅前ひまわり	30	30	0
城南内科	63	39	6,000
富山協立	30	30	5,000
政岡内科	185	129	27,000
済生会富山	0	0	2,000
かみいち総合	247	227	30,000
みかわ	42	66	1,000
うさか	56	49	7,000
厚生連高岡	873	869	49,000
高岡市民	234	230	21,000
あさなぎ	310	279	50,000
高陵	292	278	41,000
吉田内科小児科	40	40	4,000
小島	310	279	33,000
市野瀬和田内科	66	62	2,000
済生会高岡	279	251	66,000
泉が丘内科	650	610	36,000
氷見市民	42	32	17,000
中村記念	67	39	10,000
射水市民	57	57	2,000
河合内科	180	180	8,500
真生会富山	58	68	10,000
黒部市民	760	786	50,000
富山労災	83	68	30,000
坂東	115	115	18,000
厚生連滑川	0	0	0
あさひ総合	80	106	10,000
砺波総合	87	88	20,000
北陸中央	120	141	22,000
南砺市民	102	89	23,158
南砺中央	22	24	19,000
個人会員	194	184	11,000
合計	7,563	6,750	705,658

皆様のご尽力により上記署名・募金が集まりました。署名は3月17日(木)目途に全腎協から各県選出の紹介議員へ郵送されます。

透析関連の診療報酬改定について

2月9日の中央社会保険医療協議会において、2022年度診療報酬の改定内容が明らかになりました。

1. 透析中の運動療法に新たな加算

透析中の運動療法(ベッド上で自転車トレーニングマシンにて運動を行う等)について、新たに75点の加算がつけます。透析患者の運動は、血圧のコントロールが可能、筋肉が増えることで透析効率が高くなる等の効果があることから評価されることになりました。

2. 「人工腎臓」の評価見直し(内服薬の包括化)

HIF-PH 阻害薬(腎性貧血の内服薬)が使用実態(調剤薬局で処方される事例が少ない等)から包括化され、またすでに包括されている医薬品の実勢価格を踏まえ、点数が見直されます。

3. 有床診療所(19床以下の入院ベッドを持つ医療機関)における透析患者入院受け入れに評価

有床診療所は大病院で治療を受けた患者等の長期受け入れを担っていることから、その実態を踏まえ「慢性維持透析管理加算」(1日につき100点)が算定できるよう見直されます。

4. 腹膜透析にかかる遠隔モニタリング評価の新設

在宅で腹膜透析をしている患者に対する効果的な治療を推進する観点から、遠隔モニタリングについて新たな評価が行われます(月1回に限り115点加算)

5. 在宅血液透析指導管理料の見直し

在宅血液透析者に対する適切な治療管理を推進する観点から2,000点引き上げられます。

6. 検査等の医学管理料(慢性維持透析患者外来医学管理料)の見直し

この医学管理料は、定期的に行われる血液検査や心胸比を調べる胸部撮影などの検査料にあたります。今回、市場の実勢価格等を反映し、点数が39点引き下げられることとなります。

7. その他(湿布薬63枚へ制限)

外来患者に対する湿布薬は、これまでの1処方70枚から63枚へ上限が引き下げられます。なお、従来のように、医師が医学的に必要であると判断し、やむを得ず63枚を超えて投薬する場合は、その理由を処方箋および診療報酬明細書に記載することで算定可能とされる予定です。

第51回理事会

2月13日(日)サンシップ703号室においてコロナ対策を講じたうえで開催し、理事11名(書面表決1名含む)、監事1名が出席しました。

理事会では、令和4年度事業計画ならびに予算(案)、第十期(令和4・5年度)役員選考(案)などが承認され、3月20日(日)の第50回総会に付議されます。



腎臓移植希望登録の更新はお済ですか

令和3年3月31日以前に腎臓移植希望登録をされた方には、日本臓器移植ネットワークから更新手続きのお知らせが届いている時期です。

書類の案内に従って令和4年3月31日(木)までに手続きを済ませてください。返送期限までに手続きが行われない場合は、更新の意思がないものとして扱われますのでご注意ください。

訃報

本会元役員の方の土生谷進さんが2月14日にご逝去されました。

土生谷さんは平成元年から2年間本会役員を務められ、会の運営にご尽力いただきました。土生谷さんのこれまでの功労に感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。



今後の予定

- 全腎協理事会(WEB) 3/13
 - 第50回総会 3/20 サンシップ
 - 第52回理事会 4/17 富山市総合社会福祉センター
- ※今後の状況により中止又は延期する場合があります



おくやみ

- 塚田 やえ子 殿 富山赤十字病院 享年73歳
 - 大石 重敏 殿 河合内科医院 享年85歳
 - 麻井 吉正 殿 小島医院 享年69歳
 - 土生谷 進 殿 個人会員 享年70歳
- 謹んでご冥福をお祈り致します